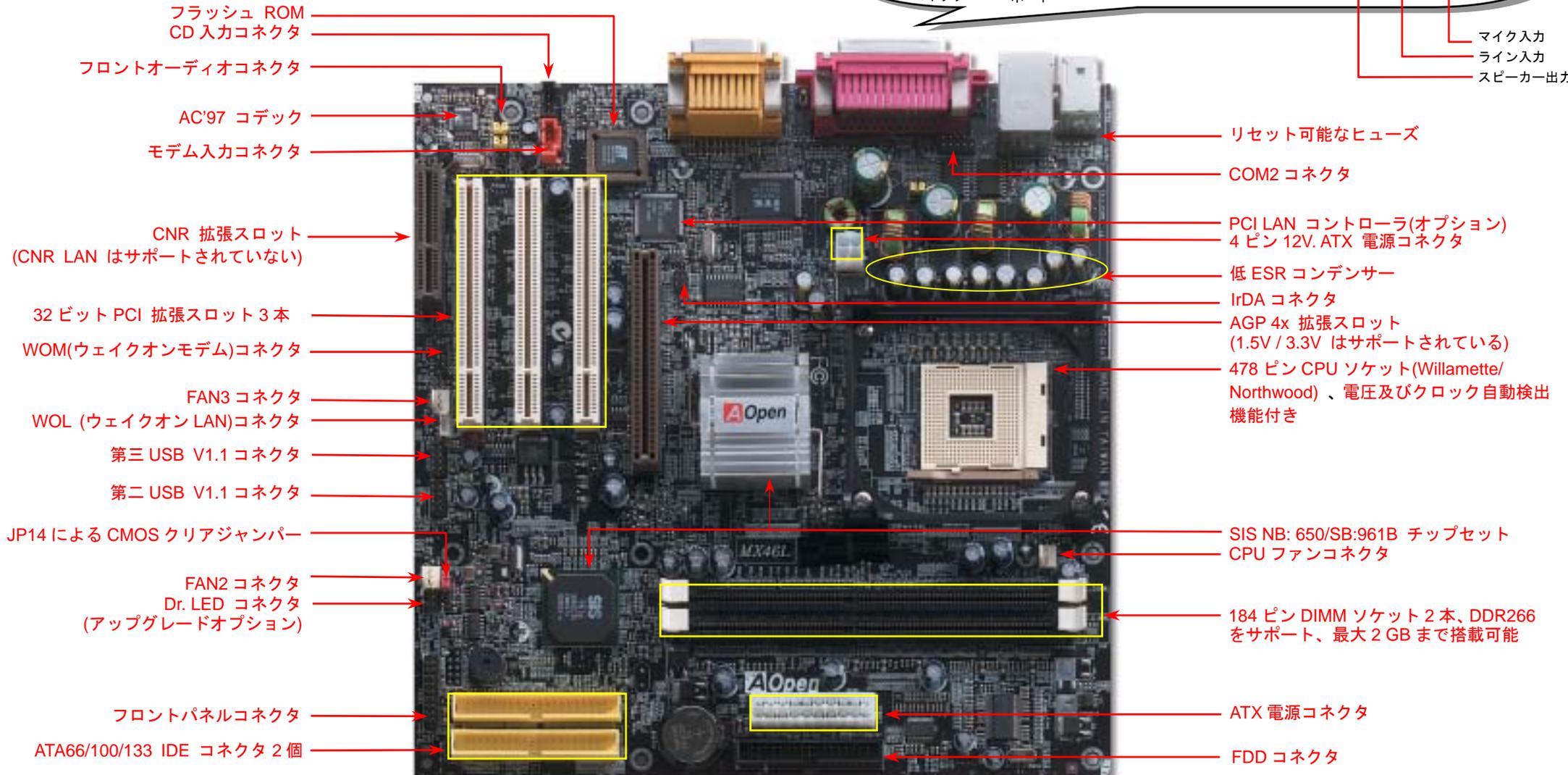
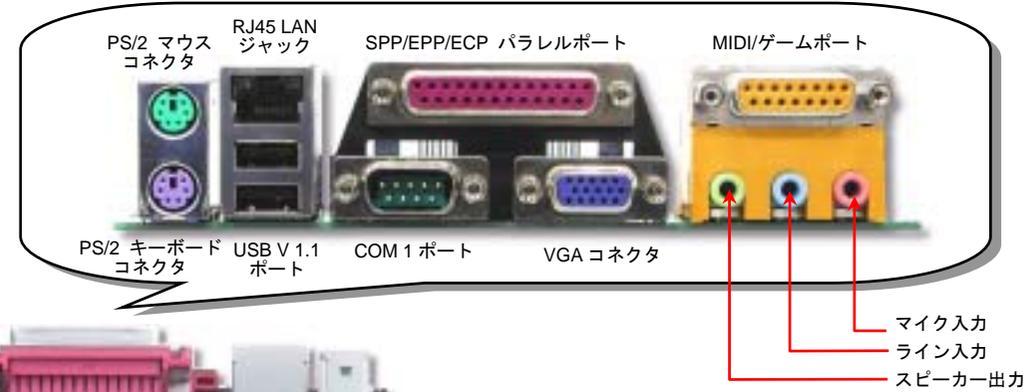


MX46L



インストールの準備



このマザーボードをインストールするのに必要な情報は全てこのイーージーインストールガイドに記載されています。さらに詳細な情報についてはオンラインユーザーズマニュアルか Bonus Pack CD ディスクに付属しています。地球保護へのご協力に感謝いたします。

付属品のチェックリスト

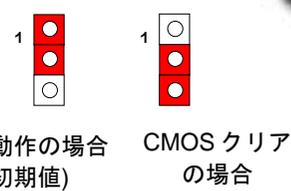
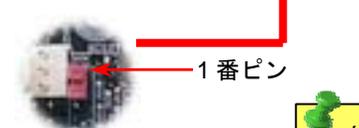
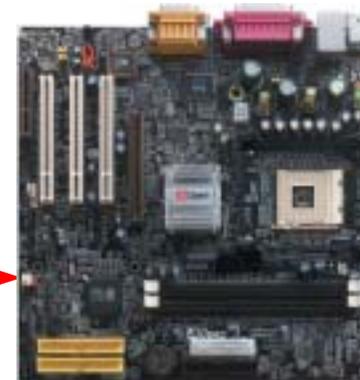


- マザーボード1枚
- 当イーージーインストールガイド1部
- 80芯線IDEケーブル1本
- フロッピーディスクドライブケーブル1本
- Bonus Pack CD ディスク1枚
- 保証書
- 登録カード

1. JP14 による CMOS クリア

CMOS をクリアする事でシステムの初期値設定に戻ることが出来ます。CMOS のクリア手順は下記の通りです。

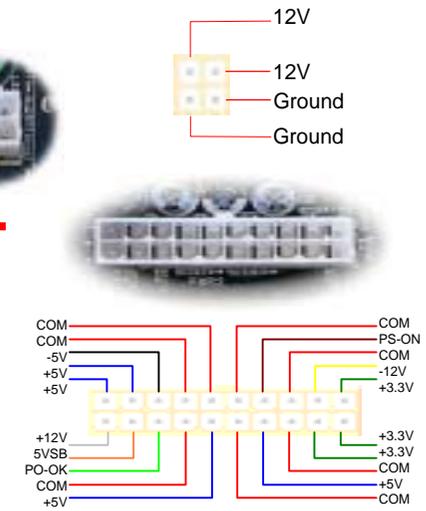
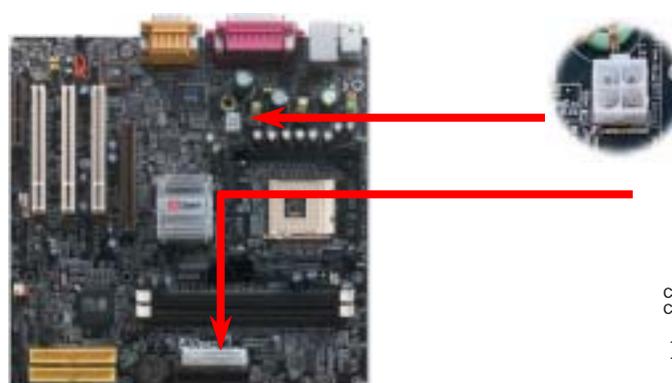
1. システムの電源を切り、AC パワーコードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを取り外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差し戻します。



ヒント: CMOS クリアはどんな時に必要?
1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

2. ATX 電源コネクタの接続

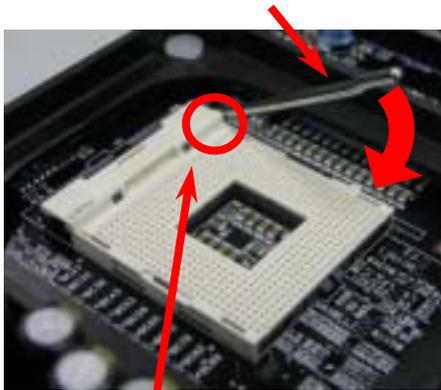
下図のように、このマザーボードには 20 ピン ATX 電源コネクタ 1 個、及び予備の 4 ピンコネクタ 1 個が装備されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピンコネクタに接続する前に、まず 4 ピンコネクタに接続しておくようご注意ください。



3. プロセッサのインストール

このソケットはインテルが開発した最新 CPU パッケージである Micro-PGA をサポートしていますので、他のパッケージの CPU を装着することは不可能です。

CPU ソケットレバー



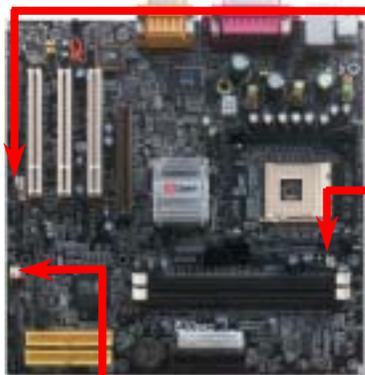
CPU1 番ピン及び面取り部

1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの 1 番ピンの位置及び CPU 上部の金色の面取り部を確かめてください。1 番ピン及び面取り部を合わせて、CPU をソケットに差し込みます。
3. CPU ソケットレバーを水平に戻しますと、CPU のインストールは完了です。

注意： CPU ソケットの1番ピンと CPU の面取り部を合わせてインストールしないと、CPU に損傷を与える可能性があります。

4. CPU 及びシステムファンのインストール

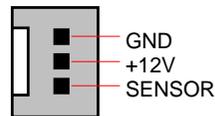
CPU ファンのケーブルを 3 ピンの CPU FAN コネクタに差し込みます。ケースファンをご使用の場合に、System Fan (FAN2) 或いは AUX Fan (FAN3) コネクタに差し込むことも可能です。



FAN2 コネクタ

FAN3 コネクタ
(ハードウェアモニタ機能なし)

CPU Fan コネクタ



注意： CPU ファンによって、センサーピンのないものもあります。この場合、ファンの監視機能は使用できません。

5. CPU 電圧及びクロックの設定

CPU コア電圧の設定

このマザーボードは CPU VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧が自動検出されます。

CPU クロックの設定

このマザーボードは CPU ジャンパーレス設計ですので、CPU クロックは BIOS セットアップから設定可能で、ジャンパーやスイッチは不要です。デフォルト設定は "table select mode" であり、"CPU Host/SDRAM/PCI Clock" の項目から FSB クロックを調整することでオーバークロックできます。

BIOS セットアップ > クロック / 電圧コントロール > CPU スピード設定

CPU レシオ	10x... 21x, 22x, 23x, 24x
CPU FSB (BIOS一覧表より)	100, 105, 108, 112 及び133MHz.

CPU	CPU コア クロック	FSB クロック	システム バス	レシオ
Pentium 4 1.4G	1400MHz	100MHz	400MHz	14x
Pentium 4 1.5G	1500MHz	100MHz	400MHz	15x
Pentium 4 1.6G	1600MHz	100MHz	400MHz	16x
Pentium 4 1.7G	1700MHz	100MHz	400MHz	17x
Pentium 4 1.8G	1800MHz	100MHz	400MHz	18x
Pentium 4 1.9G	1900MHz	100MHz	400MHz	19x
Pentium 4 2G	2000MHz	100MHz	400MHz	20x
Pentium 4 2.2G	2200MHz	100MHz	400MHz	22x
Pentium 4 2.4G	2400MHz	100MHz	400MHz	24x

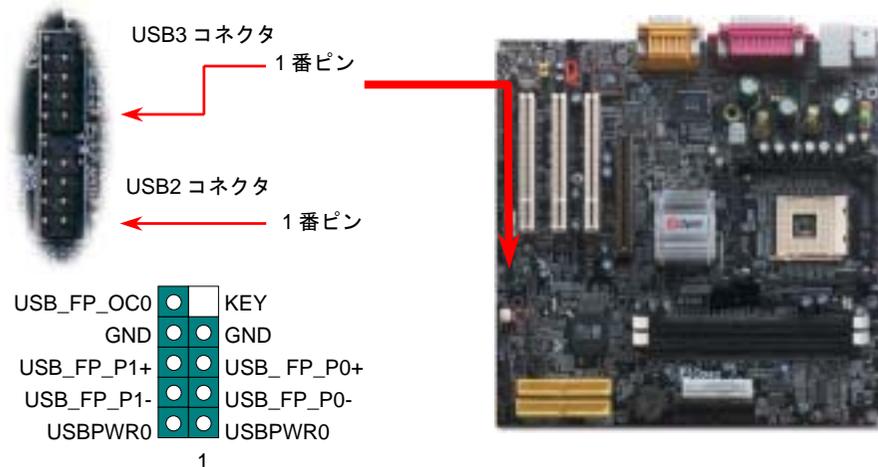
注意：
Northwoodのような最近のプロセッサは自動的にクロック倍率が検出されるため、BIOSで手動でクロック倍率の調節を行うことは出来ません。

警告： SIS 650/961B チップセットは最大 400MHz(100MHz*4) システムバス及び 66MHz AGP クロックをサポートしています。それより高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

注意： SIS 650/961B チップセットはオンボードの VGA 機能に SMA (共有メモリアーキテクチャ) を提供しているため、BIOS からビデオメモリのサイズを調整することができます。BIOS セットアップに入ったら、"Advanced Chipset Features" から "System Share Memory Size" を選びます。選択肢としては 8、16、32、64MB が用意されており、最大 64 MB の共有システムメモリが選択可能です。ご使用の基本ソフトに十分なシステムメモリを確保しておいたほうがお勧めです。

6. 6個のUSB V1.1ポートをサポート

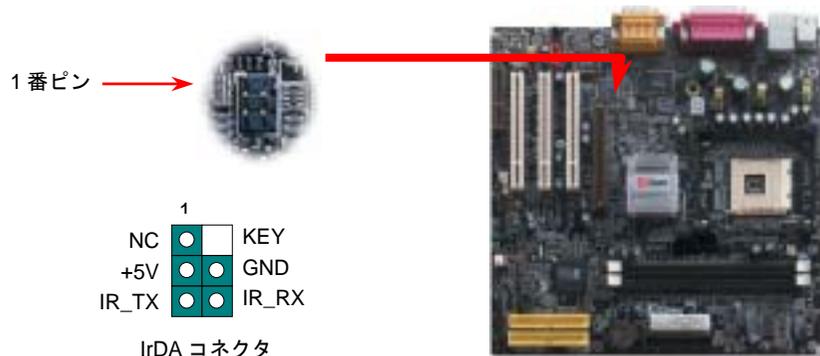
このマザーボードはマウス、キーボード、モデムやプリンター等のUSBデバイスを接続するのに、**USB** コネクタを四個提供しています。二個はPC99バックパネルにあります。適切なケーブルで他の二個のコネクタをケースのバックパネルやフロントパネルに接続することが可能です。



1

7. IrDA コネクタの接続

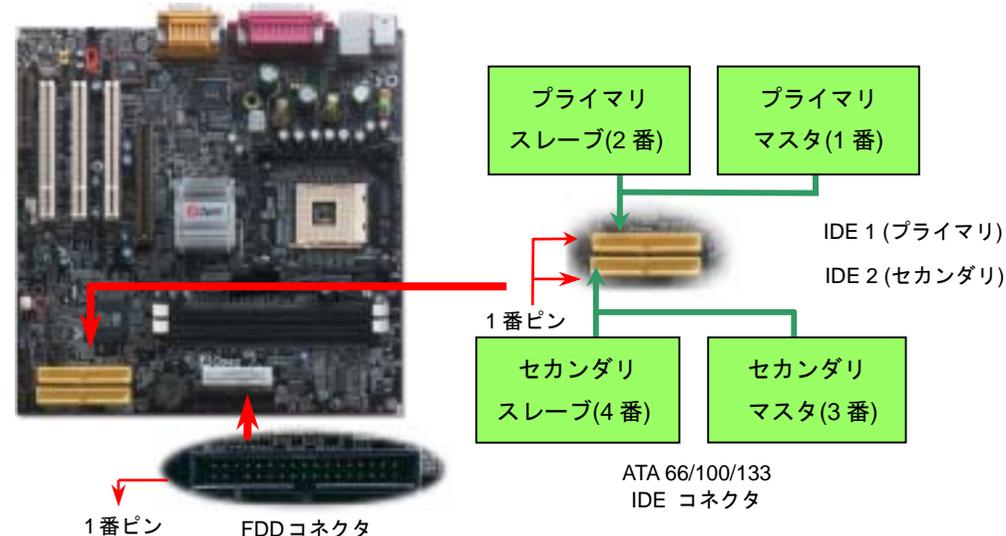
IrDA コネクタはワイヤレス赤外線モジュールの設定後、Laplink や Windows95 Direct Cable Connection 等のアプリケーションソフトウェアと併用することで、ユーザーのラップトップ、ノートブック、PDA デバイス、プリンタ間でのデータ通信をサポートします。このコネクタは HPSIR (115.2Kbps, 2m 以内) および ASK-IR (56Kbps) をサポートします。IrDA コネクタに赤外線モジュールを差し込んで、BIOS セットアップの UART モードで正しく設定してください。IrDA コネクタを差す際は方向にご注意ください。



1

8. IDE 及びフロッピーケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブル及び 40 ピン 80 芯線 IDE ケーブルをそれぞれフロッピーコネクタ FDD 及び IDE コネクタに接続してください。1 番ピンの向きにご注意ください。間違えますとシステムに支障を来す恐れがあります。



1

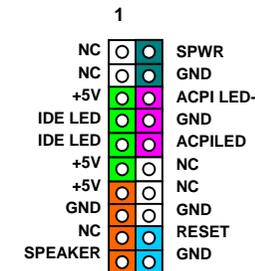
1

9. フロントパネルケーブルの接続



電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差し込んでください。BIOS セットアップで "Suspend Mode" の項目をオンにした場合は、ACPI 及び電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX 筐体における電源スイッチのケーブルを確認してください。これはフロントパネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを SPWR と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続してください。



1

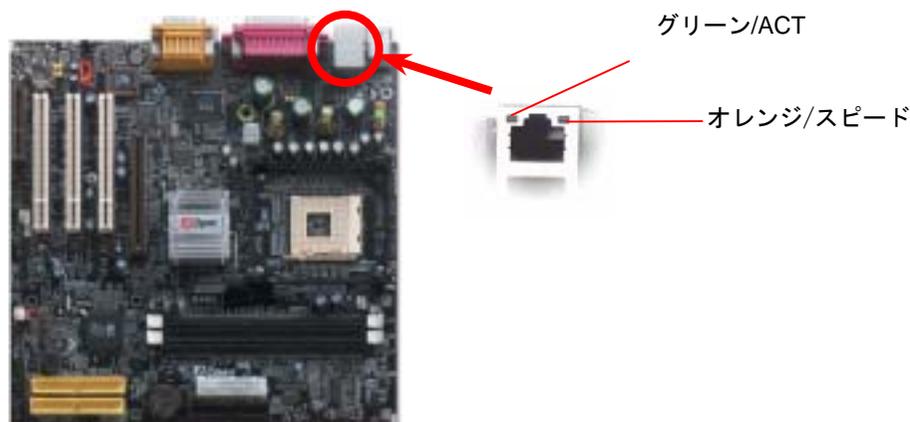
10. フロントオーディオコネクタ

ケースのフロントパネルにオーディオポートの設計がある場合には、オンボードオーディオからこのコネクタを通してフロントパネルに接続できます。また、ケーブルを接続する前にフロントパネルのオーディオコネクタから5、6、9、10番のジャンパーキャップを外してください。フロントパネルにオーディオポートがない場合はこの5、6、9、10番の黄色いキャップを外さないでください。

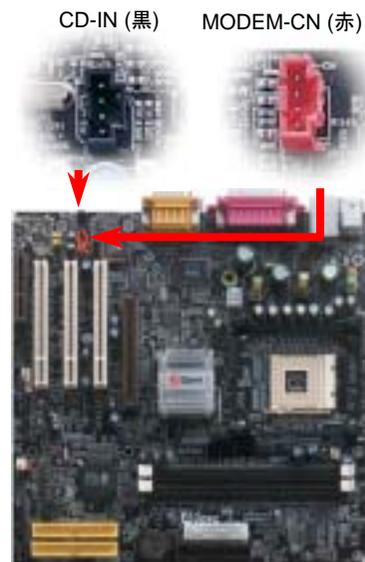


11. オンボードの 10/100 Mbps LAN 機能

オンボードで搭載された Realtek RTL8100 LAN コントローラは高度に統合されたプラットフォーム LAN 接続デバイスですので、オフィスや家庭用 10/100 Mbps イーサネットを提供しています。イーサネット RJ45 コネクタは USB コネクタの上にあります。緑の LED はリンクモードを表示します。ネットワークにリンクしている場合に点灯しますが、データを転送している場合に点滅します。オレンジの LED は転送モードを表示します。100Mbps モードでデータを転送している際に点灯します。BIOS からこの機能をオン/オフに設定することができます。



12. CD / モデムコネクタの接続



MODEM-CN コネクタは内蔵モデムカードからのモノラル入力/マイク出力ケーブルをオンボードサウンド回路に接続するのに用います。

CD-IN コネクタは CDROM または DVD ドライブからの CD オーディオケーブルをオンボードサウンドに接続するのに使用します。

コネクタ	1 番ピン	2 番ピン	3 番ピン	4 番ピン
MODEM-CN	モノラル入力	GND	GND	出力
CD-IN	左	GND	GND	右

13. LAN ドライバのインストール

下記の手順に従って、Windows95/98、Windows NT、Windows2000 及び Windows XP において、RealTek RTL8100 PCI ファーストイーサネットアダプタの LAN ドライバをインストールすることができます。

Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME/Windows XP 環境でのドライバのインストール手順:

1. インストールするドライバを尋ねられたら、「ハードウェア製造元の提供するディスクを使用」を選びます。
2. セットアップ用ファイルのフルパス名を指定します。
[CD-ROM]: Driver\LAN\RTL8100\Windows\WIN98 (for Windows 98/98 SE) または
[CD-ROM]: Driver\LAN\RTL8100\Windows\WIN2000 (for Windows 2000) または
[CD-ROM]: Driver\LAN\RTL8100\Windows\WINME (for Windows ME) または
[CD-ROM]: Driver\LAN\RTL8100\Windows\WinXP (for Windows XP)です。
3. Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME の指示に従って Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME システムディスクを使用し、セットアップを完了させます。
4. Win98/Win98 SE/Windows2000/Windows ME が残りのインストールを自動的にを行います。インストール完了後、システムを再起動させます。

14. 電源投入及びBIOS セットアップのロード

Del

ジャンパー設定およびケーブル接続が正しく行われたら、システムに電源を入れて、POST (電源投入時の自己診断) 実行中にキーを押すと、BIOS セットアップに入ります。最適なパフォーマンスを実現するには"Load Setup Defaults (デフォルト値のロード)"を選択してください。



警告:ご使用のシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD 等)がターボ設定可能であることがはっきりしない場合は、“ターボデフォルト値のロード”は使用しないでください。

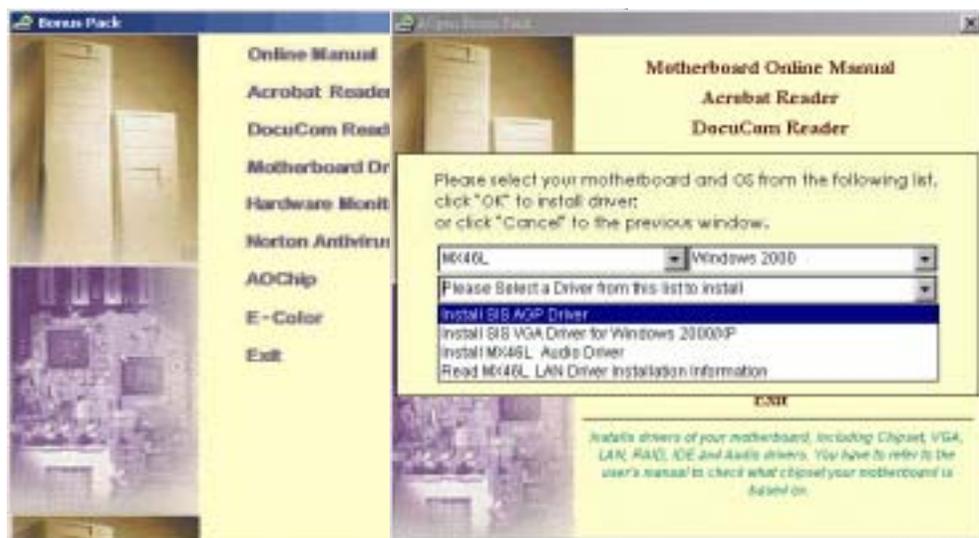
16. オンボードサウンドドライバのインストール

このマザーボードには RealTek ALC201A AC97 サウンドコーデックが装備されています。オーディオドライバは Bonus Pack CD ディスクオートランメニューから見つけられます。



15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD ディスクのオートラン機能を利用できます。ユーティリティとドライバを指定し、モデル名を選んでください。



NEW!

17. Windows 環境における BIOS のアップグレード

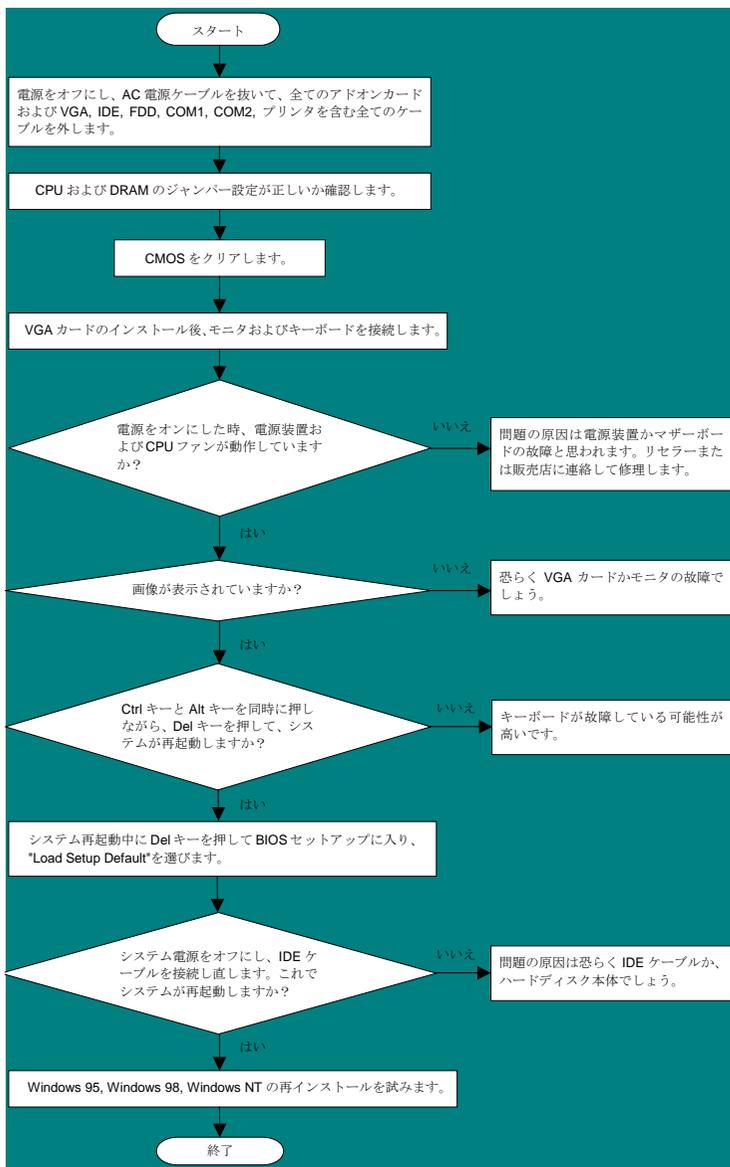
下記の手順に従って、EZWinFlash で BIOS のアップグレードを完了してください。アップグレードを開始する前に、必ず全てのアプリケーションを終了してください。

1. AOpen のウェブサイト(<http://www.aopen.com>)から最新の BIOS パッケージ zip ファイルをダウンロードします。
2. Windows において、WinZip (<http://www.winzip.com>)で BIOS パッケージ(例えば、WMX46L102.ZIP)を解凍します。
3. 解凍したファイルをフォルダに保存します。たとえば、WMX46L102.EXE 及び WMX46L102.BIN.です。
4. WMX46L102.EXE をダブルクリックしたら、EZWinFlash はご使用のマザーボードのモデルネーム及び BIOS バージョンを検出します。BIOS が間違ったら、フラッシュ操作を続行することはできません。
5. 主要メニューから好みの言語を選択し、[フラッシュ開始]をクリックしたら BIOS アップグレードが開始します。
6. EZWinFlash はアップグレード作業を自動的に完了します。完了後、ポップアップダイアログボックスからコンピュータを再起動するよう聞いてきますので、[はい]をクリックして Windows を再起動します。
7. POST 時にキーを押して**BIOS セットアップ**を起動します。"Load Setup Defaults"を選び、“Save & Exit Setup (保存して終了)”します。



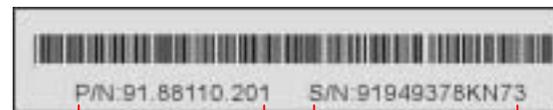
トラブルシューティング

システム起動時に何らかの問題が生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。

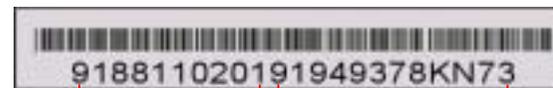


パーツナンバー及びシリアルナンバー

パーツナンバー及びシリアルナンバーがバーコードラベルに印刷されています。バーコードラベルは包装の外側、PCI/CPU スロットまたは PCB のコンポーネント側にあります。以下は一例です。



パーツナンバー: シリアルナンバー



パーツナンバー: シリアルナンバー

P/N: 91.88110.201 がパーツナンバーで、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです。

モデルネーム及びBIOSバージョン

モデルネーム及び BIOS バージョンがシステム起動時の画面 (POST 画面)の左上に表示されます。以下は一例です。

MX46L R1.00 Mar. 06. 2002 AOpen Inc.

Award Plug and Play BIOS Extension v1.0A

Copyright © 1998, Award Software, Inc.

MX46Lがマザーボードのモデルネームで、R1.00 がBIOSバージョンです。



テクニカルサポート

お客様各位へ

この度は、AOpen 製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。お客様への最善かつ迅速なサービスが弊社の最優先するところでございます。しかしながら、毎日世界中から E メール及び電話での問い合わせが無数であり、全ての方に遅れずにサービスをご提供いたすことは極めて困難でございます。弊社にご連絡になる前に、まず下記の手順で必要な解決法をご確認になることをお勧めいたします。皆様のご協力で、より多くのお客様に最善のサービスをご提供していただけます。

皆様のご理解に深く感謝を申し上げます!

AOpen テクニカルサポートチーム一同

太平洋地域
AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

ヨーロッパ
AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Fax: 31-73-645-9604

中国
艾爾鵬國際上海(股)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

ドイツ
AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2102-157700
Fax: 49-2102-157799

アメリカ
AOpen America Inc.
Tel: 1-408-922-2100
Fax: 1-408-922-2935

日本
AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ウェブサイト: www.aopen.com

電子メール : 下記の連絡フォームをご利用になり、メールでご連絡ください。

英語 <http://www.aopen.com/tech/contact/techusa.htm>

日本語 <http://www.aopen.co.jp/tech/contact/techjp.htm>

中国語 <http://www.aopen.com.tw/tech/contact/techtw.htm>

ドイツ語 <http://www.aopencom.de/tech/contact/techde.htm>

フランス語 <http://france.aopen.com/tech/contact/techfr.htm>

簡体字中国語 <http://www.aopen.com.cn/tech/contact/techcn.htm>

1

オンラインマニュアル: マニュアルを注意深くお読みになり、ジャンパー設定及びインストール手順が正しく行われることを確認してください。
<http://www.aopen.co.jp/tech/download/manual/default.htm>

2

テストレポート: 自作パソコンのための互換性テストレポートより、マザーボード、アドンカード及びデバイスを選択するようお勧めいたします。
<http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられた質問) よりトラブルの解決法が発見するかもしれません。
<http://www.aopen.co.jp/tech/faq/default.htm>

4

ソフトウェアのダウンロード: アップデートされた最新 BIOS、ユーティリティ及びドライバをチェックして取得してください。
<http://www.aopen.co.jp/tech/download/default.htm>

5

ニュースグループ: お抱えになっているトラブルに関して、弊社のエンジニアもしくはパワーユーザーよりその解決法をニュースグループに掲載されているかもしれません。
<http://www.aopen.co.jp/tech/newsgrp/default.htm>

6

販売店及びリセラーへのご連絡: 弊社は当社製品をリセラー及び SI を経由して販売しております。彼らはお客様のパソコン状況をよく知り、弊社より効率的にトラブルを解決することができます。彼らのサービス次第、お客様が彼らに別の製品を購入する意思が大きく左右されます。

7

弊社へのご連絡: 弊社までご連絡になる前に、システムに関する詳細情報及びエラー状況を確認して、必要に応じてご提供を求められる場合もあります。パーツナンバー、シリアルナンバー及び BIOS バージョンなどの情報提供も非常に役に立ちます。